



関川村

第133号

令和5年11月15日発行
2023

議会だより



子どもたちは、むらの宝

- 会議報告 2 ページ
- 決算審査特別委員会 4 ページ
- 一般質問 5 名登壇 6 ページ
- 議員活動報告 11 ページ
- 村民の声 平田 稔さん 12 ページ



村のホームページでもご覧になれます。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 小澤 仁
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

9月定例会議

9月7日、8日、11日、19日に開催し、報告2件、認定3件（4年度決算審査特別委員会付託）、議案5件、同意1件、陳情2件（総務厚生常任委員会付託）について審議いたしました。

■一般会計

補正予算

4,690万円

追加補正

(抜粋)

◇地域振興費

「地域おこし協力隊起業支援補助金」

100万円

令和5年度末で任期満了となる地域おこし協力隊員が村内で起業するための補助金です。

◇地域振興費

「商品券発行事業費」

925万円

物価高騰対策として、一世帯あたり5,000円の「暮らし応援商品券」を発行するための経費です。

1,850世帯分を見込んでいます。

商品券は、10月中に発行し、使用期間は令和6年1月末までを予定しています。

◇住宅総務費

「修繕費」

100万円

メゾン下関の給湯器の修繕費です。

◇給食費

「給食材料費負担金」

86万9千円

学校給食の材料費高騰分を村が負担する経費です。

◇施設管理費

「観光施設管理費」

1,772万9千円

道の駅「ちぐら館・あいさい市」の運営が民間事業者から管理公社に変更となったことによる委託料の補正予算です。

期間は8月1日から令和6年3月末までを見込んでいます。

従業員10名分の人件費として、1,300万円を計上しています。雇用形態は、会計年度任用職員です。

ほかに、施設の運営費や

備品購入費を予定しています。



■陳情

◇「健康保険証の存続を求める意見書」の採択を求める陳情

◇「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

今回の2件の陳情は、採択されましたので、関係機関へ意見書を提出します。

ちぐら館・あいさい市

新聞等にて報道された事案に関連する議案が、9月会議にあがる

一般会計補正予算内の施設管理費と一般質問にて、ちぐら館・あいさい市についての答弁等を抜粋して報告いたします。

●プロポーザル方式（企画競争）にて、村内事業者が村から施設の使用許可を取得し、令和3年2月から運営をしてきました。

●しかし、募集時に事業者側から示された事業計画は全体として進捗が遅れており、村は、事業者に対し、年2～3回事業確認、計画の進捗についてのヒアリングを行ってきました。

●事業者の元店長が令和5年5月26日付けで、内部問題を書面にて地域政策課に提出するが、課は一企業の内紛との判断から、村長には報告せず、課内保留としました。

●令和5年6月19日に事業者から、従業員が7月31日付けで一斉退職するとの連絡が入りました。

会 議 報 告

8 月 1 日

臨 時 会 議

(抜粋)

7 月 11 日

臨 時 会 議

■ 災 害 復 旧 工 事 請 負 契 約 の 締 結

桂地内、下山川河川の災害復旧工事請負契約を締結するものです。

契約金額は、5,610万円。

契約の相手方は株式会社山嘉土建です。



■ 一 般 会 計 補 正 予 算 5,960万円追加補正

◇ 地 域 振 興 費

「大したもん蛇まつり補助金」

160万円

ステージレンタルや警備にかかる費用の物価高騰等による増額分です。



◇ 安 心 安 全 対 策 費

「防災訓練会場準備委託料」

47万円

10月15日に県と合同で開催する防災訓練の際に必要な経費の増額分です。

◇ 農 業 振 興 費

「肥料価格高騰対策補助金」

1,000万円

肥料価格の高騰による農家への支援です。

作付面積10アール当たり1,000円の補助となります。

◇ 農 業 振 興 費

「農林水産業施設管理費」

600万円

ふるさと産品開発センターの冷蔵機器を老朽化に伴い入替するための経費です。

◇ 畜 産 振 興 費

「畜産飼料価格高騰対策補助金」

650万円

飼料価格の高騰による畜産事業者への支援です。

牛、豚、鶏の頭羽数により補助をします。



◇ 林 業 振 興 費

「林道維持管理費」

300万円

昨年8月の豪雨被害のあった林道で、補助基準に満たない箇所ので修繕費です。

◇ 施 設 整 備 費

「道の駅周辺整備事業費」

100万円

道の駅の看板工事の費用です。



■ 村 有 温 泉 特 別 会 計 補 正 予 算 230万円追加補正

湯沢共同浴場の湯湯ポンプを老朽化に伴い入替するための経費です。

● 村は、6月27日に退職を希望した従業員に対しヒアリングを行い状況把握しました。

● 従業員の一斉退職により、8月からのちぐら館の運営が困難と判断し、やむを得ず事業者の使用許可を取り消した後、7月13日、自然環境管理公社の理事会に諮り、公社に運営を任せることとし、8月から休館することなく引き続き営業可能な体制を整えました。

● 今回の定例会議において退職した従業員を公社で雇用するための人件費等を補正予算にて計上しました。来年4月以降の運営形態は未定ですが、ノウハウを持った従業員が、一つでも多く事業計画を達成できるよう期待しています。

● 緊急避難措置として公社の運営となりましたが、この体制ですと続ける考えはありません。

● なるべく早い時期に道の駅を利益追求だけでなく、情報発信の拠点にしたり、利益を道の駅の投資に向けたり、道の駅全体をコーディネートできる組織ができれば任せたいと考えます。

令和 4 年度決算審査特別委員会

○ 9 月 8 日・11 日の 2 日間、令和 4 年度の決算審査特別委員会を設置し、近壽太郎委員長はじめ議員 8 名、村長・副村長・各課長・班長他出席のもと審査を行いました。

○ 9 月定例会議の最終日に令和 4 年度決算は原案の通り認定されました。

○ 質問に対しての主な答弁を報告いたします。

(抜粋)

(歳出)

総務費

加藤和泰 議員

職員研修委託料の詳細は、

人事財政班長

部下から上司(管理職)

に対する評価をした結果をもとに、上司が研修委託業者から研修を受けるものです。

高橋正之 議員

システム改修が頻繁に行われているが、委託業者に任せっきりのなか、職員がチェックしているのか。

総務課長

チェックはしているが、改修の過程についてはチェックのしようがないのが実情です。

小澤 仁 議員

防災士取得事業補助金について、令和 4 年度は 2 名とのことだが、取得された方の集落と過去の実績は。

総務班長

集落は小和田と鍬江沢の方です。実績は制度最初の方です。

平成 28 年度 2 名、令和 2 年度 5 名、3 年度 1 名、4 年度 2 名でした。

小澤 仁 議員

昨年の豪雨災害を受け、防災士のようなスキルを持った方がいるのといわないのでは大きく違ってくると思う。例えば集落で何人、コミュニティで何人というように、区長会議やコミュニティ連絡協議会等の場で依頼したらどうか。

総務課長

区長を通じて周知しています。また、個別の声掛けもしています。各集落に 1 名ぐらいいてもらえると有難いと考えています。

鈴木紀夫 議員

せっかく防災士の資格を取得しても、集落の自主防災組織と連携していないと、防災士として十分に力を発揮できない。集落の防災担当者等に積極的に取得してもらおうのほうか。

総務課長

現状、防災士の活躍等については不十分であり、今後防災士同士の会も必要で

はないかと考えています。今後、防災士取得者を増やしていきたいと考えています。

近 敬志 議員

民間企業企画提案事業委託の成果は。

地域振興班長

具体的な成果はないが、職員の刺激にはなったと思います。

鈴木紀夫 議員

オンライン化システム構築委託料の詳細と、システム稼働後も経費がかかるのか。

住民環境班長

オンライン化システム構築委託料は、コンビニ等で証明書の交付を可能にするものです。手数料の 4200 円は、証明書が正しく出るかを実際にコンビニでテストをしたものです。コンビニ交付証明発行機能利用料は J-LIS (地方公共団体情報システム機構) に一通につき 180 円を支払うもので、今後も発生します。

鈴木紀夫 議員

災害ごみ処理対策費の仮置き場整理と仮置き場整備

の内容は。

住民税務課長

整理については、交通整理、ゴミの分別作業です。整備については、仮置き場の運営業務と重機の運転業務などです。

農林水産業費

近 壽太郎 議員

国土調査事業での令和4年度の対象地域と進捗率は、

住民税務課長

令和4年度は安角地区です。進捗率は65・5%です。

鈴木紀夫 議員

農業用水門等操作委託料は農業用水に限ったものか。

農林課長

主にゲート式で10ヶ所中8ヶ所は県から委託されたものです。他の2ヶ所は下川口のトンボ池と高田の第2排水樋門になり、農業用の区分になっています。

民生費

小澤 仁 議員

ファミリースポーツセン

ター事業については、令和

3・4年度とも登録会員数は6名で、利用者がゼロ

となっている。令和5年中に園児の保護者からアンケートを取り利用を検討することだが、その結果は。

健康福祉課長

アンケート結果をみると近くに子どもの面倒を見てくれる親がいるなど困っている方が少ないのが現状です。事業をやめるのは簡単ですが、急に利用したい人が出てきた場合のことを考えて、制度を残しています。

土木費

近 壽太郎 議員

除雪機械のリースと買い取りの比較見積りをしたことは。

建設課長

しばらく更新の計画がないので比較見積りをしたことはありません。リースの場合は、補助金がありません。補助金を利用して購入した方がよいと考えています。

教育費

加藤和泰 議員

学校連絡システム構築委託料のスマホアプリの内容は。

教育課長

学校と保護者をつなぐアプリになっています。これまでのシステムは学校から連絡をするだけで既読がわかりませんでした。今回のアプリは既読が可能になったので使い勝手が良く学校での評判が良いです。

鈴木紀夫 議員

立木伐採委託料は2ヶ所とも危険回避のための全伐



か。

教育課長

一ヶ所は、六本杉地内にある庚申杉の雪害による枝の処理です。もう一ヶ所は旧土沢小学校の松くい虫による枯れ松の伐採処理です。

税務班長

環境性能割が120万円増えました。

平田 広 議員

令和4年度の徴収率と県内での順位は。

税務班長

徴収率は98・7%で、県内で4番目に高い状況です。

(特別会計)

関川村診療所 事業特別会計

平田 広 議員

受診者の人数が増えているようだが、村外からの受診者はどれくらいか。

診療所事務長

村外からの受診者数は把握していませんが、社会保険加入者の方で整形外科に受診された方が多数いました。

(歳入)

村税

小澤 仁 議員

軽自動車税の説明で、水害時の入れ替えによる増とのことだが、環境性能割が入っているのか。



一般質問

加藤 和泰
議員



道の駅 ちぐら館・あいさい市の 適正な運営を求める

議員

道の駅のちぐら館・あいさい市の運営がヤマサ商事から村の外郭団体である自然環境管理公社に変更となった経緯は。

村長

事業者応募時にヤマサ商事側から示された事業計画の進捗に遅れが見られる中、7月末をもって店長及び従業員が一斉退職することが明らかになりました。

大型遊具のオープンや大したもん蛇まつりの開催を間近に控え、事業計画の進捗はおろか、経験者がいなくなるにより、ちぐら館・あいさい市の円滑な運営が懸念されることから、やむを得ず使用許可を取消し、管理公社に運営を変更しました。

議員

管理公社の運営に変更となり、現状は円滑に運営できているのか。

村長

管理公社で、当該事業を引き継ぐため従業員を急遽募集した結果、これまでち

ぐら館・あいさい市に携わってきた方々から応募があり、運営体制が整いました。現時点で順調に運営できていると考えます。

議員

ヤマサ商事に雇用されていた元店長から村に提出された一枚の文書について伺う。

この内容は、元店長が雇用されている企業の評価を下げる一方、自身を過大評価しているものである。

村はこのような文書を地域政策課内で閲覧し、どのように取扱ったのか。

村長

そのような文書が提出されていた事実は知りませんでした。

地域政策課として、一企業の内紛に関する文書を村長に上げる必要性がないと判断したということでした。

議員

元店長の文書には「つきましては、今まで培ってきた知識と経験を活かし、私が設立する法人で新たな計画を実行し、店舗運営を

担いたく存じます」と書かれている。

村は、この元店長が設立する法人で運営することを約束したのではないかと

村長

そのような事実は断じてありません。

議員

ちぐら館・あいさい市の運営体制を今後どのように考えているのか。

村長

現在の管理公社による運営は一時的であり、今後は他の事例なども調べながら、透明性のあるものができないか検討していきます。



議員

道の駅敷地内のコンビニ誘致の進捗状況は。

村長

現在の敷地では面積が不足するため、用地確保に向けて、アチエーロを解体するための国の補助事業の採択を目指しているところです。

議員

アチエーロは解体することになったのか。

副村長

コンビニ誘致を含めて、一帯を再開発したいと考えています。

一般質問



近
こ
ん
と
し
た
ら
う
壽
太
郎
議
員

温泉橋における 水道管落下事故原因の 詳細と対策

議員

8月1日、温泉橋の桁に架設されている水道管の落下により、湯沢・川北地区が断水するという事故が発生した。幸い関係者の努力により、早期に仮復旧したが、地域住民は対応に追われ、不安な日を過ごすことを余儀なくされた。

水は我々人間の生命線であり、最大の危機管理をもつて運営されなければならない。今回の事故原因を究明し、再発防止へ繋げるためにいくつか質問する。原因の詳細説明を求める。

村長

本案件の水管橋は昭和50年に架設され、既に48年経過しています。水道管は口径150ミリの鋼管です。温泉橋の桁に支持金具を取付け添架しています。落下した箇所は2本目の橋脚のジョイントまで、水道橋が座屈し落下したものと思われる。

残存力所には結露が原因と思われる腐食が見られ、受台は脱落している箇所も

ありました。また温泉橋の床板の伸縮装置の隙間からの雨水がジョイントの真上に落ちる状態になっており、結露に加え、雨水や凍結防止剤を含んだ融水の影響で腐食が著しく進行したものと推測しています。

また落橋した箇所は荒川の流れの頭上に位置し、目視不可能なことから腐食の原因を確認できていなかったものと推測されることから、これも一つの要因であると考えられます。

議員

本復旧に向けての今後の対応と予定は。

村長

本復旧のスケジュールについては、残存している管内の状況をカメラで今月中に調査する予定です。

この結果を取りまとめ、温泉橋の管理者である新潟県と協議しながら早ければ令和6年3月に工事を開始し、出水期前の6月には完成したいと考えています。しかし、工事の規模によっては、出水期を挟むため、

12月までずれ込む可能性もあります。

議員

再発防止の管理体制は。

村長

今回の事故を受け、国の水道施設の点検を含む維持修繕の実施に関するガイドラインでは、おおむね5年に1回の頻度で点検を行うとありますので、直接目視可能な箇所ではこれを守り、橋長が長い箇所については、橋梁管理者に5年に一度の橋梁点検時、水管橋の状況を開示してもらって確認したいと考えています。

議員

開示してもらう具体的な内容は。

建設課長

橋梁の管理者である村上地域振興局が橋梁点検を実施します。その時に詳細な写真などの撮影をお願いしまして、それを開示していただくことを考えています。

議員

水道は大切なライフラインである。再度徹底した管理を求める。

村長

この度の落下事故は大規模で、仮復旧の目途もわからない大きな問題だと思い、新発田市や村上市から給水車を配置して対応しました。本来落橋することはあつてはならないことです。そういう意味において村内の水道施設全般について点検をしっかりとしながら必要な時期に必要な補修ができる取り組みをしていきたいと思っています。



一般質問

かわさき
てつや
川崎哲也
議員



- ・ コロナワクチンの効果検証
- ・ 異常気象による農家支援

議員

令和3年春のワクチン事業開始以降、多い人で6回接種している。この間、コロナ感染症の状況や村民の体調など、村ではワクチンの効果を検証しているか。

村長

ワクチンは、国が品質、有効性及び安全のデータの収集分析を行うとともに、予防接種の有効性及び安全性を十分確保することになっているため、村ではワクチンの効果についての検証は行っていない。

議員

これからワクチンの秋接種が始まる。ワクチンは、接種希望者がその効果と副反応のリスク双方を理解し、自らの意思に基づき接種を判断することとなっている。村民に対して、村はワクチンの十分な情報提供をしているか。

健康福祉課長

ワクチン接種券を送る際に、厚労省が作成したパンフレットを同封しています。また副反応や効果について

て村民が調べやすいよう、村のホームページ作成に努めています。

議員

ワクチン接種後の発熱など、副反応の例を身近でもよく見聞きする。村民の副反応の状況の調査はしているか。また、副反応があったときの対応窓口を村で設けているか。

村長

村民の副反応の状況は、村での調査は行っていない。副反応への対応窓口は、専門に設けてはいませんが、問合せがあった場合には、医療機関やかかりつけ医に相談するよう伝えたり、県の相談センターなどを紹介したりしています。

議員

副反応による健康被害に對し、救済制度があるが、村内での申請及び認定の例はあるか。また、その制度については村民に積極的に伝えていくか。

健康福祉課長

村民からの健康被害の申

請、また相談等は、これまで1件もありません。

制度のPRにつきましても、国のリーフレットに記載があり、健康被害があった場合には、役場の窓口にご相談するようにという記載がありますので、それを接種券と一緒に同封しています。



議員

今年の記録的高温と降雨不足で、県内各地で農業への被害が出ている。この数年で、農業資材や燃料の高騰などで、農業経営状況が厳しい中、今年のような異常気象による農業被害への支援を、村では検討しているか。

村長

村では、農家が水不足への対策を行った場合の経費について、農家または水利組合等への補助を検討しており、補正予算で概算金額100万円を計上し、農家の負担の軽減につなげたいと考えています。

なお、高温や降雨不足による収量、品質等に被害が発生した場合は、生産者ごとに加入している共済メニューに応じた共済金で減収額を補填してもらうことになります。



マコモタケ

一般質問



近こん
敬たかし志し議員

園芸従事者への 支援と活性化を

議員

第6次関川村総合計画の第2節第1項(6)園芸作物について伺う。

「農業経営の安定化のため、水稻のみの経営に加え、園芸作物の導入を支援し、経営の複合化を推進します」とある。従事者の高齢化や減少による耕作放棄地対策の一つとして、村は昨年よりカボチャ栽培の支援強化をしているが来年度以降の作付プランの策定は。

村長

村ではこれまで農業経営の安定等を目的とした園芸作物の導入を支援しています。村としての作付プランというものは作成をしていませんが、生産者の作付計画の参考になるよう、これまでの反省や生産者からの意見などを反映させながら、より多くの方が参加でき、作付面積の拡大や品質の向上につながるよう提案していきたいと考えています。

議員

昨年は規格外品を加工品として洋菓子の製造販売を行ったが、今年の計画は。

村長

カボチャの生産は昨年度から生産者有志が中心となつて始まったものですが、昨年8月豪雨で被災し規格外となつてしまったカボチャが大量に発生したことから、地域おこし協力隊の発案でプリンなどに加工し、規格外品の有効活用を目的として行われたものであり、今年度についてはカボチャの出来栄えを踏まえていると聞いています。

議員

来年度以降の販路の拡大の方策は。

村長

今のところ販路は確保されていると聞いています。村としましては、規格外品となった農産物の加工業者の販路開拓を行うなど、引き続き生産者の取組を支援

していきたいと考えています。

議員

栽培指導への取り組みは。

農林課長

今年度から県の普及センターに依頼しまして栽培指導をいただく取組を始めたところです。次年度以降も、引き続き県からのご指導をいただきながら、栽培技術の向上につながる取組や、また先進地や出荷先、関連施設の視察なども含めて、生産者の意欲の向上につながる取組を生産者と一緒に行なっています。

議員

規格外品の対応は。

農林課長

規格外品にも様々な可能性はあると思います。このカボチャの取組については、村としましては引き続き積極的に関わりを持って、生産者と一緒になつて考えていく、そういった取組をし

していきたいと考えています。

議員

園芸振興への支援強化を。

村長

稲作だけでは今後の見通しがつかない、問題があるということで、園芸については県も推奨しています。また、健康対策という意味からも、園芸に携わるといふのは極めて有効だと思います。付加価値が上がり、高齢者もその中に参画でき、生きがい対策になればと思っています。



一般質問

高橋正之議員
たかはし まさゆき



復旧工事の優先順位は

議員

昨年8月の豪雨から1年が過ぎ、建設関係者の皆様のおかげで復旧が進んでいるようだが、地域や地権者からはこれで復旧が終わったのかといった話が出ています。復旧工事の順位、順番などはどうのようにして決めているのか、また、完了後は関係者に確認をしているのか伺う。

村長

農地被災は、査定29箇所、その後、取下げの申請があった8件を除く84箇所の復旧事業となっています。また、農業用施設についても97箇所の査定を受け、同じく取下げ等のあった8箇所を除くと89箇所となっており、農地、農業用施設を合計して173件の復旧事業を行っています。

工事の優先順位のつけ方としては、原則として、発災後、次期作となる令和5年の作付に影響が大

きい幹線用排水路を最優先としながら、農地の排水作業を優先し、次期作への影響を少なくするように、順位をつけて実施しています。

ただし、大規模な被災箇所については5月の作付に間に合わないことが事前に判明し、春の雪解けを待って復旧作業を行った箇所もあります。

また、あぜが崩れた箇所については、春に本復旧をすると作付に間に合わないことが判明した場合、応急的なあぜを作り、収穫後、改めて本復旧する計画となっている箇所もあります。

しかしながら、建設業者の手が足りず請負業者が決まらないなどの理由から、必ずしも優先順位どおりに工事着手ができません。また、完了後の関係者への確認については、地権者や耕作者などから確認をいただき、順次引渡

しをしています。

次に、林道の災害復旧事業についてです。

林道は9路線27箇所の被害が発生し、雪解けを待って工事着手し復旧作業を行っているところで

す。工事の優先順位のつけ方としては、他事業の計画があった新関沢林道の工事を最優先して計画する必要がありますが、それ以外の箇所については、他の施設や住居などへの影響を勘案し、優先して実施しなければならぬ箇所はなかったため、準備が整ったものから順次発注をしてきました。

次に、公共土木の復旧工事の順位ですが、複数の事業主体が取り組んでいて調整が必要な現場や、水稲の作付前や刈取り後に施工する必要があるなど、条件付きの現場を優先しています。また、修繕対応の現場については、受付順で施工業者の選定

順としています。完了後の関係者の確認は取っていません。



議員活動報告

町村議会広報研修会〈全国〉

- 広報の法律知識・基礎知識・デザイン知識
- 広報担当の紙面づくり講座

全国町村議会議長会主催の広報研修会が、東京日経ホールにて開催され、広報常任委員会を代表し加藤つや子委員長が参加しました。

広報をつくる上で、法的な問題など、基礎的なことについて学びました。



県町村議会議長会感謝状



渡邊秀雄
前議長
お疲れ様でした

議長在職中に新潟県町村議会議長会において、監事の任を務めたことに対する感謝状が同会から授与されたものです。

町村議会議員研修会〈前期〉

- ・ ハラスメントを防止するために
講師 日本産業カウンセラー協会 安藤ますみ氏
- ・ 当面の政局展望 人事と解散
講師 政治ジャーナリスト 泉 宏氏

8月4日、新潟県自治会館にて、安藤氏より、ハラスメントとは何か、防止するための対策、対処法など、ハラスメントの本質について学びました。また、泉氏からは、日本記者クラブなどの経験や人脈を活かして得た情報で読み解く政局と内閣の人事についての現状や今後の展望、予測について講義いただきました。

町村議会広報研修会〈県〉

伝わる議会報の構造と表現
「議会だより」の編集技術を学ぶ

県内の議会広報紙を発行している9町村の広報担当議員を対象に毎年行われている研修会です。

講師に自治体広報広聴研究所代表理事の金井茂樹氏を迎え、

9月29日に新潟県自治

会館にて開催されました。

関川村の広報常任委員会議員6名が参加

午前中は聖籠町、弥彦村、刈羽村の広報委員長による事例発表と意見交換。午後からは金井氏の講演と、9町村

の広報紙をクリニックし、企画、構造、視認性、可読性などの表現方法をチェックしました。



村民の声



人のつながり

ひら 平 田

みのる 稔 さん
(松平)

2020年、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスから3年が経過し、ようやく世の中も日常を取り戻しつつあります。4年ぶりに開催となる「村民駅伝競走大会」に川北地区の体育協会会長として、参加される選手の方々のサポートをさせて頂いています。私も若い頃に参加した大会では、日々の過酷な練習の成果と、周りの皆様の支えにより区間賞をとったことを今でも鮮明に覚えています。年々参加される方が少なくなってきたおり、大会運営自体が厳しくなり、規模の縮小を余儀なくされている状況が非常に残念であります。私が生まれ育った地域も過疎化が進み集落内での関わりも以前より少なくなってきたいます。「旧川北小学校」が母校ですが、季節ごとに開催される行事を心待ちにしていたことを覚えて

えています。「川北郷民運動会」・「文化祭」・「登山」・「田植え」・「稲刈り」等、これらの行事は小学生だけでなく、地域住民の方々のご協力を得て執り行っていました。このような行事を通じて大人と子供との関わりの良さを学び、また故郷の温かさを経験できたことが私の財産になっています。駅伝大会に限らず、様々な地域行事も開催されることになくなったことで、改めて「地域行事の大切さ」や「地域住民との結び付きの大切さ」を実感しています。

私は現在、二人の孫に囲まれ毎日心穏やかな生活を送っています。関川村は風光明媚な所ですが、人口減少が喫緊の課題です。この素晴らしい村で生活できる喜びを、大人も子供も感じられるよう、子育て支援に力を入れて頂きたいと思っています。ゆくむ近くに建設された子供公園のように子供たちの遊び場を充実させることは、関川村を子育て



て世代に知ってもらう第一歩となります。自分の子供を自然豊かな環境で育てたいと思っている親はたくさんいます。関川村が子育て支援を手厚くすることでの日か、たくさんの子供たちで盛り上がる地域行事を見ることができれば、これほど嬉しいことはありません。私のできることは限られておりますが、孫と一緒に施設を利用することで、孫達が遊びを通じて何かを感じ、この村の良さを発信してくれると信じています。

編集後記

暑すぎた夏も終わり、寒さが身に染みる季節です。新米を食べられた方もいらっしゃるでしょう。味は変わらず美味しいコシヒカリ。関川村のお米を、いま以上に多くの方に食べて頂きたいものです。おいしいお米を食べて、元気に冬を迎えたいですね。さて、議会広報常任委員会のメンバーも変わり、村民の皆さまに議会にもっと関心を持ってもらえるように、工夫していきたいと思っておりますので、ご意見やご要望をいただけるとうれしいです。(つ)

議会広報常任委員会

委員長	加藤つや子
副委員長	加藤 和泰
委員	近 壽太郎
委員	鈴木 紀夫
委員	近 敬志
委員	川崎 哲也